

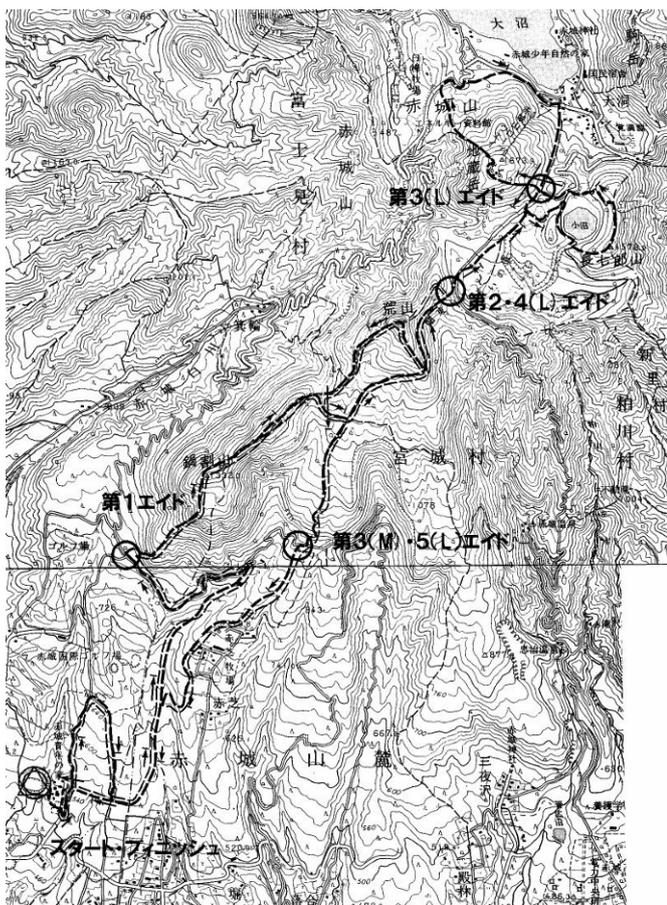
アドベンチャースポーツガイド No.7によると 2009 年は 4 月から 8 月の 5 ヶ月に 15 のレースが紹介されている。中には 100km のウルトラレースもあるが、ここではオリエンテーリング関係団体がかかわる 5 レースを紹介する。

・上州の名山を走る

赤城山トレイルランニングレース

国立赤城青少年交流の家を発着点とし赤城山頂上の湖水を巡ってくるレースは新緑の 5 月下旬に開催されて、回を重ねるごとに人気が高まっている。トレイルランニングの広まりにあわせ、平成 18 年 11 月に第 1 回大会を開催して今年は 3 回目。ハイカーや自然保護、あるいは走りやすさへの配慮をし、開催時期やコースに改善を加えている。

今年開催したレースではスタートから急斜面コースに至までの距離を 4km 延ばし、選手の分散を図る工夫を施した。トレイルランナーにはいやな山道入口での渋滞を抑えるようにした。ロングは全体で 35km、3 つのピークハントを含む 28km の林間コースを走破する。往きは登り、帰りは下りがメインで全体で 2000m の登距離となる。舗装路は 7km と少ないのは嬉しい。ミドルはロングをショートカットした 24km のコース。



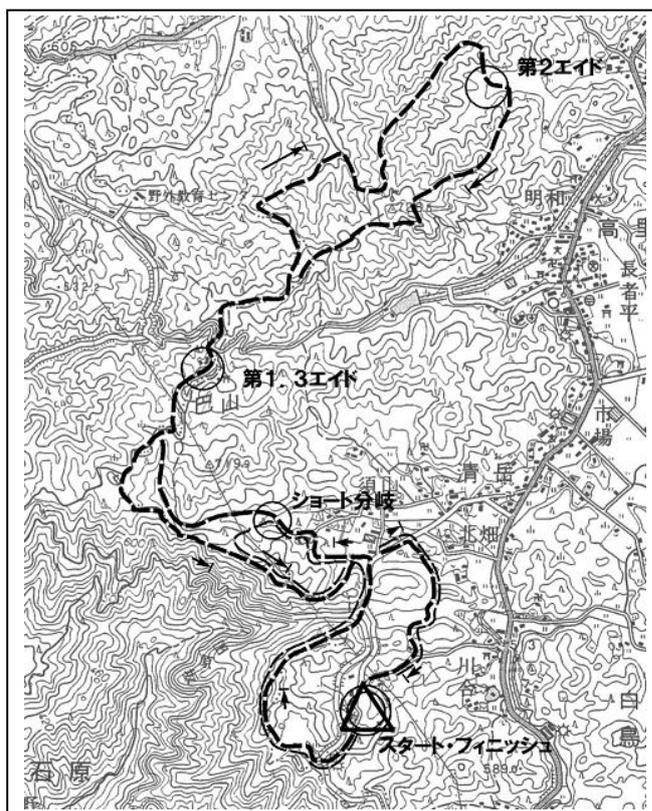
・杉や桧の林が爽快

三河高原トレイルランニングレース

WOC2005 の翌年 2006 年から WOC の地図作成で浮かび上がった道を活かし愛知県オリエンテーリング協会が毎年 9 月に開催。今年で 4 回目となる。初回は新城市の鬼久保ふれあい広場から豊田市の三河湖ダム下までのワンウェイのコースであったが、参加者や荷物の移送などの省力を考え、鬼久保ふれあい広場をスタートフィニッシュとするループのコースになった。その後、私設の林道の通行の問題や雨天時の道の荒れの問題があり、第 3 回から図のコースにほぼ落ち着いた。

24km のロングと 8km のショートの 2 コースが用意されている。当初は著名なトレイルランナーを招待していたが、第 3 回でロング、ショートともオリエンティアが優勝したことをきっかけに、男女のロングショートの優勝者を招待することで、オリエンテーリングの PR に結びつけようとしている。

参加者は愛知県を中心とした東海 4 県からの参加者がほとんどで約 900 名の参加がある。



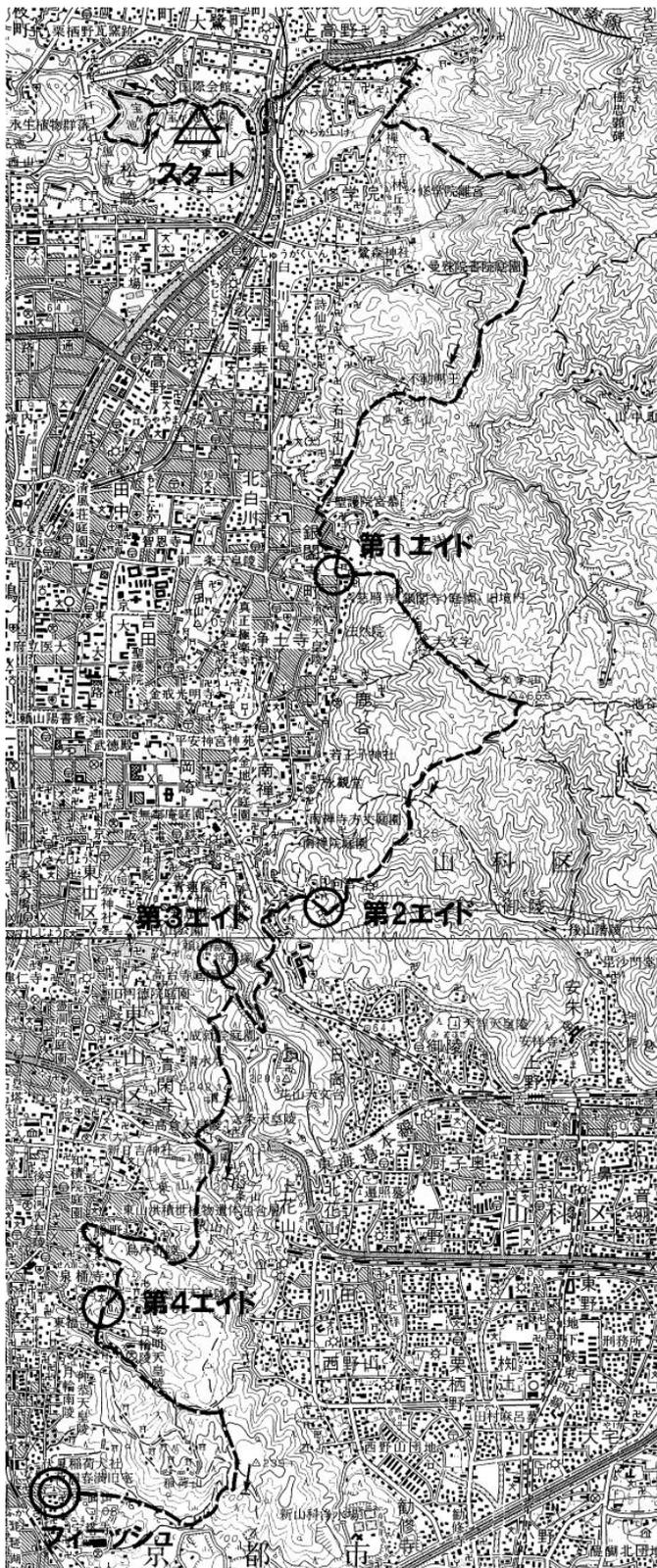
・師走の京を眼下に

東山三十六峰マウンテンマラソン

毎年 12 月に開催されている。京都市の宝ヶ池をスタートし、瓜生山、大文字山を経て、伏見稻荷までの 30km のコース。昨年は 1000 名余りの参加者を得た。

京都府オリエンテーリング協会が京都トライアスロンクラブとともに運営に当たっている。今年で 16 回目となる老舗の

大会である。



京都トライアスロンクラブの練習会で最近東山に面白いランニングコースができたので走りに行こうと誘われて行ったのが始まりで、南の稲荷山をスタートし、北の比叡山までそれぞれ尾根をつないで一本のトレイルコースが完成した。京都オリエンテeringクラブの久保さんは大文字山などがある東山は誰も走ってみたいとなるところである上、交通の便もよいのでイベントとして必ず成功すると直感し、関係者を説得し、大会がスタートした。

2 orienteering magazine 2009.12

富士山の眺望抜群

有度山トレイルランニングミニレース

「日頃走っているトレイルの魅力をもっと多くの人に知ってもらいたかった。特に静岡はまだトレラン後進県なので。トレランはどこか遠くの高原地方でやる値の張るスポーツというイメージを払拭し、身近なところでもトレランが楽しめることを示したかったのだ。」と開催のいきさつを主催者NPO法人「M-nop」の村越真さんは語る。

名前のおとおり、エキスパートコースが9km、ビギナーコースが5kmと他の大会に比べ距離が短い。また、昨年の参加者は100名余であったが、著名なトレイルランナーの参加もあって、オリエンティアは15名程度参加があり、健闘している。

場所は静岡市の日本平。船越堤公園を発着とするこのコースは舗装路が15%程度で他は未舗装の道～小径である。富士山が眺められる里山コースである。

村越さんは「今後も継続して行きたい。あとは、オリエンテeringとの接点拡大やアウトドアの総合イベントとして、また市民へのスポーツ環境の提供といった側面でも充実させたい。」



桜回廊も楽しめる

正木山トレイルランニングレース

OLC吉備路が昨年から取り組み始めたレースで、岡山県総社市の学校をスタート、フィニッシュとする30kmから16kmの3コース。OLC吉備路クラブ員による豚汁、おにぎりのサービスは好評。同クラブが以前運営協力をしていた「鬼たいじ50kmマラニック」の参加者が主体だが、ロコミで参加者は増えている。桜シーズンの4月第1週に開催している。